



# Hawaii Tokai Ohana Times 2016 6月

Newsletter from HTIC Chancellor's Office

HTIC と日本の保護者のみなさまを結ぶニュースレター。オハナ (Ohana) はハワイ語で「家族」の意味です。小さな学校ではありますが、家族のようなつながり、ケアを大切にしたいと考えております。



## 70 名の新入生を迎えました



本学は 4 学期制で一年に 4 回新しい学生たちを受け入れますが、4 月はいつも一番多くの学生を迎えます。今年も日本、韓国から計 70 名が入学しました。

4 月 11 日には日本の全校集会にあたる Convocation を行い、新入生に恒例のレイが送られました。レイはハワイらしく、生花のオーキッドでした。

新入生は学期が始まる前に英語のクラス分け試験を受け、その結果によって 1 ~ 5 (5 が最上級) までのクラスに配属

されます。

新入生 70 人のうちいちばん初級レベルの CP1 が 57 名で大半を占め、CP2 が 10 名、CP3 が 3 名でした。CP4 と CP5 には該当者がいませんでした。

CP は学期毎に進級の条件があり、成績が悪いと同じレベルをもう一度リピートすることもあります。反対に、成績がよいとスキップ (飛び級) して二つ上のレベルに行くこともできますので、ぜひチャレンジして欲しいと思います。

## 2016年 主な日程

### 6月 JUNE

- 17日 CP, LA 春学期終了
- 18日 卒業式
- 30日 CP 夏学期開始

### 7月 JULY

- 5日 LA 夏前期 (Summer I) 開始

### 8月 AUGUST

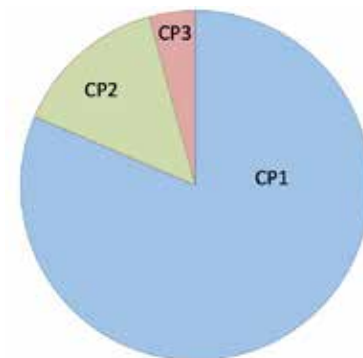
- 9日 LA 夏前期 (Summer I) 最終日
- 11日 LA 夏後期 (Summer II) 開始

### 9月 SEPTEMBER

- 9日 CP 夏学期 (Summer II) 終了
- 16日 LA 夏後期終了
- 29日 CP, LA 秋学期開始

### 12月 DECEMBER

- 9日 CP, LA 秋学期終了
- 10日 卒業式



4月入学生のクラス分け結果

## 卒業までのカレンダー

CP (予科) College Preparatory  
LA (本科) Liberal Arts

LA の 2 学期目あたりから編入先、進路について調べ始めることをお勧めします。

※東海大学の編入時期は 9 月、4 月の年 2 回です。  
※アメリカの大学の編入時期はさまざまです

9月編入  
東海等

4月編入 東海  
日本の多くの大学

	2016			2017				2018				2019	
CP 学期	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
LA 学期	春	S1 S2	秋	冬	春	S1 S2	秋	冬	春	S1 S2	秋	冬	春

(1) CP1 からスタートし一度もリピートしなかった場合

(2) ここで LA に入学

(3) ここで卒業

※ CP2 以上からスタートしてリピートしなかった場合、途中でスキップした場合は卒業が早まります。

# 熊本地震

## HTIC からも支援の動き広がる

4月に発生した熊本地震では東海大学の熊本、阿蘇キャンパスも大きな被害を受け、3名の学生の尊い命が失われました。心からご冥福をお祈りいたします。

HTICにも熊本出身の学生が在籍していますので、地震発生後は落ち着かない様子も見られました。その後、学生会や寮の学生アドバイザーが中心となって、募金活動が始まりました。

5月6日には本学の講堂でチャリティーナイトが行われ、学生の音楽パフォーマンス等に地元の人も多く詰めか

け寄付が集まりました。22日には地元のフリーマーケットにも出店し、売り上げは寄付金として熊本地域に送られます。



# From the Cafeteria

HTICにはカフェテリアは無く、学生たちはお隣のハワイ大学ウェストオアフ校のカフェテリアに食べに行きます。カフェテリアを運営しているのはDA SPOTというレストラン、ケータリング会社。

社長のアマド・ラマダンさんと奥様の木藤亜子(きふじあこ)さんに話を聞きました。そう、亜子さんは日本人なのです。

DA SPOTは15年前にホノルルで小さな小さな食堂としてオープンした。当時ハワイで語学学校に通っていた亜子さんと出会い、結婚。「とても貧乏だったんですよ」とアマドさんは話す。スムージーをやりたかったという通り、今でもスムージーは定番メニュー。すべて自分たちで生フルーツから冷凍し、氷で薄めないというスムージーはハワイでも有名で、カフェテリアでも多くの種類を提供している。

アマドさんはエジプト人。宗教上の理由で豚肉はメニューにない。「人が欲しいものを作るというのがモットーですが、ここだけはちょっと譲れないんです」と話す。HTICの学生の要望を聞いて、これまでもうどんや味噌汁、マグロの刺し身といったメニューも提供した。

なるべく地元の食材を使う、トランス脂肪酸は使わない、長く冷凍しない、健康によい材料を吟味する、と品質管理に



DA SPOTの代表、Ahmadさんと奥様のAkoさん

はこだわる。すべてのメニューの創作に社長自らが関わる。ケータリングがメインのビジネスで、「嵐」のコンサートのメンバーとスタッフのためのケータリングも行った。

学生からの提案を聞いて、新しいメニューにもチャレンジしたいという。「要望はぜひ伝えてください」と強調する。

「学生さんには楽しんで食べてもらいたいです。誰でも、食べることは避けられないことですからね」

# 2015年進学実績

2015年、HTICから以下の大学への編入合格がありました。

## ▼ 米国

University of Hawaii, Manoa

University of Hawaii, West Oahu

University of Hawaii, Hilo

Hawaii Pacific University

Stony Brook University (ニューヨーク州)

University of Puget Sound (ワシントン州)

State University of NY at New Paltz

San Francisco State University

## ▼ 日本

### ▽ 私立

東海大学(工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻、文学部英語文化コミュニケーション学科、体育学部スポーツレジャーマネジメント学科、工学部材料科学科、文学部社会心理学科、体育学部体育学科、国際文化学部地域創造学科、教養学部国際学科)

東京女子大(現代教養学部)

東洋英和女子大(国際社会学部)

学習院女子大学(国際文化交流学部)

関西外語大学(英語国際学部)

駒澤大学(グローバル・メディア・スタディーズ学部)

北海学園大学(人文学部)

Temple University Japan Campus

### ▽ 国立

福岡教育大学(中等教育教員養成課程)

高知大学(人文学部)



# TGIF ってなんだ？

Thank God It's Friday! ああ、やっと週末がやってくる！

2016年の新学期がスタートしました。さて、今回はアメリカの学生の間でよく使われる言葉「T.G.I.F」をご紹介します。これは、Thank God It's Fridayの略。訳せば、「神様ありがとう、今日は金曜日だ！」という意味です。

なぜこんなに大げさに金曜日を喜ぶのでしょうか？それは、やっと辛かった月曜から金曜までの勉強や仕事が終わわり、楽しい週末が始まるのだ！という意味が込められています。こちらでは月曜から金曜の夕方まではびっちり勉強や仕事をし、週末はきっちり気持ちを切り替えて違うことをする、というカルチャーが強いと言えます。

Have a good weekend! (よい週末を!) というのはアメリカでとてもよく聞く挨拶の一つなのですが、このWeekendには日本の「週末」とは違う意味での重みがあるように感じます。

週末を待ち望むのは学生も勤め人も同じなのですが、学生は特にそれが強いかもしれません。こちらの大学生は、日本の普通の大学生では考えられないほど勉強をします。月～金までの間に、遊びに出かけたり、夜遅くまで遊んだりということはまず無いと考えてよいでしょう。月～金は完全に「勉強モード」なのです。

筆者も昔アメリカへの留学を経験したとき、あまりにも周りの学生が普通の日に遊ばないのを怪訝に思い、「何してるの？」と聞いてみたことがあります。返って来た答えは「朝起きてから夜寝るまで、とにかく学校の勉強のことを考えている」というものでした。「それ以外何があるの？当然じゃない？」といった雰囲気言外に感じられました。

その代わり、金曜の夜のはしゃぎようは時として度を超していると感じられることもあり、それほどぶだんはストレスがあるのかなあ、と思った次第です。

パターンとして金曜夜～土曜日あたりは何もかも忘れて遊び、日曜の朝に少しゆっくりして午後からは次の日の勉強の準備を始めてだんだんと憂鬱になる、というのが典型的な学生のパターンでしょうか。

HTICはアメリカの大学なので、先生たちもアメリカの学生の学習習慣を期待しています。最初のうちは宿題の多さにびっくりするかもしれませんが、こちらではまったく「普通」のことなのです。大学生はある意味みんな「ガリ勉」と言ってもよいでしょう。日本の大学とはだいぶ違います。早くこのスタイルに慣れていただきたいと思います。

## 東海編入、面接不要に



前号でHTICから東海大学への編入試験の際、書類審査に加え面接のために一度は日本に帰る必要がある

と説明しましたが、2015年の秋から試験制度が変わり、HTICからの編入希望者については書類審査だけで合否が決定されるようになりました。編入学のタイミングは9月(秋学期)と4月(春学期)は変わりありません。

own riskということになります。

危ない場所に行かない、街灯の無い道を夜は歩かない、車の保険には必ず入る、免許は必ず取得する、という指導は口をすっぱくして行っていますが、それでもそうしない人に対しては、at your own riskと言うしかありません。無免許でバイクや原付を運転し事故に遭うと、旅行者保険(留学生用保険)が適用にならない場合があるので特に注意が必要です。

「危険」とされるスポーツについても同様です。スキューバダイビング、サーフィン、スカイダイビング、ハンググライダー、パラセーリング等が該当します。これらのスポーツで起こった事故については留学生保険がカバーしないものが多くあります。それでもやるなら、at your own riskで危険を承知の上で行ってください。



学生会主催の全校集会では、学生自らがモデルとなってヘルメットを着用し、「ヘルメットをかぶろう」と呼びかけました。

## At Your Own Risk ってなんだ？

もう一つ、こちらでよく聞く言葉が「At your own risk (自分の責任で)」です。監視員のいないプールや海辺で必ず見かける看板ですが、「危険はありますよ。それを承知の上で行動して下さい」ということです。自分の身は自分で守るという考えが強い国で、事が起こると行政の対応の不備が指摘されることが多い日本とはずいぶん違います。

At your own riskの考えは多くの場面で見られます。例えば、ハワイではバイ

クや原付(こちらではMopedと言う)に乗るときヘルメットの着用が推奨はされていますが義務づけられていません。多くの人がヘルメット無しで乗っていて、残念ながら学生の中にもヘルメットをかぶらず乗っている人が多くいます。学校としては再三ヘルメットの着用を呼びかけてはいますが、日本ではないのでそれを「強制」することはできません。ヘルメットをかぶらないのも自分の選択ですから、事故が起こったときは at your

## スタッフ紹介



**Professor  
Rosalie  
Paradise**  
准教授  
CP (予科)

オーストラリアの大学でケミカルエンジニアリングの学士号を取得後、マネージメントの資格を取得。メルボルンで生まれ育ち、様々な国際社会の中で勉強したため旅行が趣味となった。大学院卒業後、日本に旅行した際の思い出が忘れられず、ロンドンで2年過ごした後、再度日本へ戻り英語教師として働いた。結婚後ハワイへ来てすぐ、HTICで予科の教員として働き始めた。学生の笑顔を見る事が日々の楽しみになり、学生の夢を聞いてはそれに向かってサポートする事が何より大事と考えている。仕事以外では、ランニング、サイクリング、スイミングと体を動かすのが好き。トライアスロンにもこれまで4回出場。今年はポストンマラソンにも参加した。ペットはトイプードル。よくハイキングコースにも連れて行く。



**Kumiko  
Yabe  
-Domingo**

IP Director (インターナショナルプログラム・ディレクター)

HTICで開催される英語短期研修をコーディネートする部署 International Programs (IP) に勤務して8年。年間30近くの研修団体の受け入れを行っている。2008年にハワイに移住する前は7年間英語教師として沖縄県の県立高校で教鞭をとっていた。趣味は旅行と食べる事。これまでに訪れた国はアジアやヨーロッパも含めて12か国。各地の食文化を堪能してきた。好きなハワイ料理はポイとラウラウ。日本語が母国語だが、留学生とのやり取りはEnglish Only! をモットーとしている。

## 卒業生に聞く FROM HTIC SENPAI!

田畑静花さん (2011年卒・付属翔洋高校)

中学高校時代は部活のバスケばかりの生活だった。昔から英語だけは好きで、成績もよかった。HTICを選んだのは「英語をもっとしゃべれるようになりたい、キャビンアテンダントになりたい」という単純な理由だった。二つ上の兄がイギリスの大学に行っていた影響で、絶対にアメリカの大学に行きたいと思っていた。SHIP (東海大付属高校卒業前のHTIC研修プログラム) にも行っていたので英語には自信があったのだが、入学後のクラス分けテストで一番初級のCP1クラスに入れられた。絶対に上級クラスからスタートできると思っていたので、そこで悔しさに火がついた。

宿題に困ったことはなかったが、自分でノルマを決めて勉強していた。「速読速聴」という参考書を毎日欠かさずやった。休みの時も日本に帰っているときも、これだけは欠かさずやった。アメリカの大学に編入した先輩がいて話を聞き、この大学の厳しさを肌で感じた。

選んだ専攻はマーケティング。これならつづしがきくと思った。寒いのが嫌いでNorthern Arizona大学一本に絞った。キャビンアテンダントの夢はいつの間にか消え、もっとできることがあると思うようになった。実際に大学を見に行き大いに気に入り「私が行くところはここだ」と即決。合格を勝ち取った上、留学生向けの奨学金も獲得することができた。

進学した大学は日本人が少ないところ。相手にされない感があり、何でもいからリアクションしたり、しゃべってみたり、グループワークが多いのでどれだけ自分をアピールするかが重要だった。卒業間際、マーケティングのプランを考えるグループプロジェクトで、メン

バーの一人が緊急入院。グループの運営を仕切ることになった。終了後の学生同士の評価でいちばん高い点ももらい、とてもうれしかった。

就職活動はボストンで開かれる日本人留学生向けの就活イベント「ボストンキャリアフォーラム」にも行った。チョイスはたくさんあったがそこでは決めなかった。

夏休みで日本に帰っているときも積極的にインターンをやったりした。今は東京の照明デザイン会社で働く。海外のクライアントが多くデザイナーもほぼ全員外国人なので、メールや会議など英語のやりとりが多い。社長は決して英語が得意というわけではないのに、外国人をまとめる力量がある。英語だけではないと思った。将来は自分でも会社を立ち上げたいと思っている。



アリゾナでの田畑さん

Hawaii Tokai International College

91-971 Farrington Hwy, Kapolei, Hawaii 96707

tel: (808) 983-4100 mail: ohanatimes@tokai.edu

本ニュースレターに関するご意見  
ご感想等はメールでどうぞ!



Facebookでも最新情報を発信しています。

「ハワイ東海インターナショナルカレッジ (日本語)」で検索してください。